

地域で楽しむ生涯スポーツ

# 「総合型地域スポーツクラブ」

スポーツに親しむだけじゃない！  
身近にあるつていいじゃん、  
地域交流をはぐくむみんなの居場所。

★  
気軽にスポーツしています  
「わくわくスポーツクラブ」

わくわくスポーツクラブは、子どもと大人が一緒になっていろいろなスポーツを楽しむ、総合型地域スポーツクラブです。山名地区を活動拠点とし、毎月第1・3土曜日を基本に、年20回程度活動しています。平成24年度の会員数は、小学生以上の児童36人とその保護者で、8人のスタッフがその活動を支えています。

活動種目は、日ごろ体験できないようなニュースポーツなど様々で、スポーツの楽しさ、おもしろさを体感しながら、体を動かすきっかけづくりになることを目指しています。

また、水泳、雪遊びなど季節に応じた活動や、しめ縄作りや通学合宿などの文化的な活動も取り入れています。

「暑い」「汗かいた？」といった何気ない親子の会話、中学生ボランティアのかかわり、種目によっては指導をお願いすることがある地域団体との交流など、スポーツを通して生まれる心のふれあいを大切にしています。

## 参加者の声

小学6年生の弟と参加しました。高校では文化部なので、軽く体を動かすのにちょうどよく、気持ちよかったです。(わくわくスポーツクラブOBの高校生)



知り合いがやっていて、よかったと聞いたので参加しました。軽装で来てしまいましたが、無理なく楽しく運動できました。(小学生2人の母親)

娘がやりたいというので一緒に参加しました。内容がニュースポーツなので、みんなスタートラインが同じ。気負わずに運動ができるのがいいと思います。(小学4年生の子を持つ父親)



## ●総合型地域スポーツクラブとは？

まだ聞いたことのない方も多いかも知れませんが、説明させていただきます。

「総合型地域スポーツクラブ」は、多種目(2種目以上)、多世代、多様な技術レベルという3つの多様性を持った自主運営のスポーツクラブのことをいいます。日常的に、活動拠点となる施設を中心に、会員である地域の皆さんの要望に応じた活動が、質の高い指導者の



スポーツ推進課  
久野勝也さん

もに行えます。気軽にいろいろな種目が体験でき、地域のつながりも生まれるところが最大のメリットです。

課題としては、運営指導者や活動拠点の確保、地域の実態にあった運営方法などが挙げられます。

平成24年6月1日現在、県内には55のクラブがありますが、市内には1クラブのみ。市では、総合型地域スポーツクラブの周知を図り、設立の相談に応じたり、運営の自立支援などに努めています。総合型地域スポーツクラブに認定されると、補助金も受けることができます。

詳しくは、担当窓口までお気軽にご相談ください。

☎スポーツ推進課スポーツ振興係 ☎44-3129

## 市民編集員がお伝えします

### ☆ミニクイズ

2012年ロンドン五輪から、新たに加わる種目はどれでしょう？

①ピリヤード

②スポーツチャンバラ

③女子ボクシング

答えは20ページ

## いろいろな活動を行っています



通学合宿



雪遊び(スキー)



しめ縄作り

### 平成24年度はこんな活動を行う予定です

月	主な活動
5	開始式、ゲーム
6	フリスビー、ファミリーバドミントン
7	水泳、水遊び
8	水泳、水遊び、輪投げ
9	インディアカ、ペタボード
10	インディアカ、ペタボード
11	グラウンドゴルフ、ツーデーウォーク
12	持久走、ドッジボール、しめ縄作り
1	持久走、ドッジボール、雪遊び
2	縄跳び、昔の遊び、豆まき
3	修了式、お楽しみ会、縄跳び

※通学合宿 総合型地域スポーツクラブの活動として、通学合宿も行っています。

## ★ スタッフの思い

「このクラブのねらいは、運動を好きになること。だから、競技大会の出場を目指すというようなことは考えていません」と、わくわくスポーツクラブ運営委員長の杉山満芳さん。

また、夏のプール遊びでは地域の中学生たちがボランティアで手伝いに来てくれるなど、子ども同士のかかわりも大切にしています。

「自主運営のため、経費をやりくりしていくのは大変な面もあります。総合型地域スポーツクラブが、市内各地

にあれば交歓会などもできて、楽しみも広がります」と杉山さん。

またスタッフの皆さんは、普段からスポーツにかかわる活動をする方がほとんどです。

「自分たちも遊んでいるというのが本当のところですよ」と、にこやかに話されます。

その一方で、体力や取り組み気持ちには会員の中でも個人差があり、活動内容を決めるのは一苦労しているとのこと。

「わくわくスポーツクラブOBが、スタッフとして参加してくれることも期待しています」。そんなふうに、地域でのつながりが少しずつ増えていくようになるというですね。



杉山満芳さん

### 市民編集員のひとこと



これは、ニュースポーツのペタボードで使う道具で、名前は「キュー」です。

こせきゆうこ たにぐちふみえ  
小関裕子、谷口史恵

「冬枯の中に家居や村」  
これは俳人、正岡子規が袋井を詠んだ句で、この句碑が袋井の駅前にあります。明治22年4月、駅舎だけの小さな袋井駅ができました。そして同年の12月、当時学生だった子規は、東京から四国松山の家へ帰る途中で、列車が袋井駅に停まったとき、窓からの情景をこのように詠んだといわれています。  
目に映ったのは遠く4、5軒の農家と竹藪の中の古いお寺で、それが夕まやに浮かんでいたのです。句碑は昭和32年の12月に駅前建てられました。

### ちよこっと民話

～南地区編～  
（「袋井に伝わる昔話」より）



袋井駅前(南地区)

### ニュースポーツって知ってる？

子どもから高齢者までを対象に、誰もが気軽に楽しむことができるスポーツです。ルールが易しく、運動量が適量で、年齢や男女差によるハンディが少ないなどの特徴があります。